

## 目標3 地域経済の安定を生み出す産業づくり

### 主要施策 3-1 農林水産業の推進

#### 1) 農林水産業の基盤整備と振興

##### ■現状と課題

本村の農業は、水稻をはじめ、畜産・茶・タバコなど、それぞれの特性を活かしながら品質向上を目指し、発展してきました。しかし、担い手の高齢化や後継者不足は避けられず、農村に求められるべき農地の保全や管理に大きな影響を及ぼしています。

農業の維持発展を推進する上で、また次世代に今ある資源を伝えていくためにも、担い手の確保はとて重要な課題であり、営農組織や認定農業者、新規就農者を支援する体制づくりを図りながら、有機農業推進法や、地産地消の取り組みを活かした新たな販路の拡大及び6次産業化により、収益性の高い産業構造の確立を目指し、地域資源の有効活用と効率的な土地利用を進めていくことが必要です。

農作業の効率化を図るためには、生産基盤の整備が重要です。農道については現在、広域農道が活用されていますが、まだ未整備農道が多くみられます。また、農業用水については、灌漑機能だけでなく、環境に配慮した整備が必要です。

森林の荒廃が進みつつある中で、山林の環境林としての機能を高めるとともに、放置化されている山林対策についてもその取り組みが必要です。

農林産物が鳥獣等に荒らされる被害が年々増える傾向にあり、農家や林家の生産意欲を低下させる要因のひとつになっています。鳥獣被害への有効な対策を検討することが必要です。

河川環境の良好な保全と、特産物として有名な鮎を始めとした魚族の育成、保護、増殖等を関係機関と連携して取り組むことが必要です。

##### ■施策の方針

農業生産基盤の整備や農地の集積による効率的な農地利用を行い、担い手の育成や参入企業との連携などを図り、6次産業化の取り組みに対する支援、販路の拡大と安全で安心な食糧の安定生産に努め、足腰の強い農業の実現を目指します。

農道や農業用水・排水路などの農業基盤、林道や作業道などの林業基盤の整備に努め、農山村地域の持つ多面的な機能の維持を促進し、景観の保全に努めます。

鳥獣被害の対策として、鳥獣被害防止計画に基づき、駆除隊による計画的な捕獲及び防護柵の設置等を実施します。

よりよい河川環境を保全し、各水産関係機関と連携しながら水産業の育成・支援を実施します。



## 事業の内容

- 認定農業者や集落営農経営発展に向けた支援
- 後継者や新規就農者の支援など担い手の育成
- 農業基盤の整備（圃場整備、農業用水、排水路の整備）
- 効率的な土地利用の推進
- 6次産業化の取り組みに対する支援
- 良品かつ収益性の高い農産物生産の推進
- 有機農業や循環型農業による環境保全型農業の推進支援
- 学校給食への地元農産品供給など地産地消の推進
- イベント交流などによる生産物の販路開拓
- 猟友会などと連携した鳥獣害防止対策
- 造林や間伐事業による森林資源の適正管理の促進
- 住民やボランティアとの協働による森林保全活動の促進
- 中山間地域等直接支払交付金と農地・水・保安全管理支払交付金による地域資源保全活動の推進
- 特産品開発の推進
- 林産加工物の流通促進
- 林業基盤の整備（林道、作業道整備）
- 広域農道の利活用促進
- 水産業の育成・支援の実施



## 主要施策 3-2 工業の振興

### 1) 新たな産業と村内企業の振興

#### ■現状と課題

地域産業の活性化と雇用の場の確保のため、既存の企業との連携を図りながら、人吉球磨地域全体で積極的な企業誘致の推進が必要です。

また、高速交通網の人吉インターチェンジが整備された優良な環境条件を活かし、優良企業の立地を受け入れる体制を整えることが必要です。

#### ■施策の方針

雇用の場の確保を図るための優良企業の誘致に努めます。また、既存の企業とも連携を図ります。

#### ■事業の内容

- 既存企業との連携・情報交換
- 人吉球磨地域が一体となった企業誘致

## 主要施策 3-3 商業の振興

### 1) 村内商業の核づくり

#### ■現状と課題

私たちの近隣市町には、ショッピングセンターや大型家電店などが進出し、村内からもたくさんの人が出かけています。

地元の商店は、地域の商業を支える上でその役割は重要です。地元商店の活性化は、村の活性化につながります。近年、コンビニエンスストアの進出があったものの、後継者不足などの問題を抱えており、商工会など関係団体と協力し、さらなる振興に努める必要があります。

#### ■施策の方針

商工会と連携し地元商店の育成に努め、商業の活性化を目指します。

#### ■事業の内容

- 商工会との連携による地元商店の育成
- 商工組織の強化





## 主要施策 3-4 雇用・就労環境の向上

### 1) 就労環境の整備

#### ■現状と課題

雇用の確保と創出のためには、住宅、教育、福祉等、多分野の政策や取り組みの連携が不可欠です。本村では、企業の進出により雇用の促進が図られていますが、まだまだ不十分です。今後は、住民生活の安定と向上を目指す上でも、就業機会のさらなる確保が必要です。関係機関と連携しながら、高齢者や障がい者の雇用の促進、勤労者福祉の向上に努めることが必要です。

#### ■施策の方針

就業機会の創出を図り、雇用の促進に努めます。また、ハローワークなどの関係機関と連携し、あらゆる雇用情勢の把握と情報の提供に努めます。

#### ■事業の内容

- 企業案内などによる雇用情勢の把握
- 求人情報等の情報提供
- 関係機関との連携

